

令和2年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター 臨時号 令和2年7月16日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

<http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1. 気象情報

2週間気温予報（7月16日更新） 仙台管区气象台発表

日付	1週目の予報（日別）						2週目の予報（5日間平均）					<input type="checkbox"/> 平年並 <input checked="" type="checkbox"/> 低い
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	(21~25日)						(22~29日)					
仙台 (最高気温)	22	25	27	27	26	27	27	27	27	27	27	
仙台 (最低気温)	17	19	21	21	21	21	21	21	21	21	21	

17日（金）まで最低気温が17℃前後となる予報

表 7月12日からの日別の気温（鹿島台アメダス）

期間	平均気温		最高気温		最低気温	
	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)
7月12日	19.0	-2.0	21.0	-4.0	16.8	-1.2
7月13日	18.2	-2.9	21.3	-3.8	16.1	-2.0
7月14日	18.6	-2.7	19.3	-5.9	18.0	-0.3
7月15日	18.1	-3.3	19.8	-5.6	15.8	-2.6

7月12日から4日連続で日平均気温20℃以下、3日間で最低気温17℃以下となっています。

2. 生育状況と対策

移植日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
5月1日	6/28~7/2	7/8~7/12	7/28~8/1
5月5日	7/1~7/5	7/11~7/15	7/31~8/3
5月10日	7/3~7/7	7/13~7/17	8/2~8/4
5月15日	7/7~7/11	7/17~7/21	8/4~8/8
5月20日	7/10~7/14	7/20~7/24	8/7~8/10

管内の多くのほ場で幼穂形成期に入っており、特に早生品種や移植時期が早かったほ場では、減

<幼穂長と稲の生育>

幼穂長 (mm)	生育 ステータス	外形	出穂前 日数
1	幼穂 形成期	止葉抽出	25
2			20
8~15			18
30	減数 分裂期		15
80			12
120			10
195			6
205		穂ばらみ始め	4
220			2~1
220			0
		出穂	

数分裂期に達している可能性があります。

障害不稔が発生する温度条件は、「最低気温 17℃以下」または「日平均気温 20℃以下」が数日続くような場合とされています。

幼穂形成期（出穂 20～25 日前）から減数分裂期（出穂 10～15 日前）までの低温時には水深 10cm 程度に湛水して下さい（前歴深水）。

前歴深水と減数分裂期の深水管理（17～20 cm）を組み合わせることで、被害軽減効果が大きくなります。

（参考）生育時期別の低温による減収率

（農林統計調査部） （％）

被害時間	低温条件											
	14℃				17℃				20℃			
	日		数		日		数		日		数	
分けつ期 （6月上旬～7月中旬）	1	2	3	5	3	5	7	10	5	7	10	15
幼穂形成期 （出穂前 30～25 日）	0	0	5	10	0	5	10	20	0	5	10	15
幼穂形成中期 （出穂前 25～15 日）	0	5	10	20	5	15	20	30	5	10	20	30
穂孕前期 （出穂前 15～10 日）	0	10	20	25	10	10	35	50	10	15	30	45
穂孕後期 （出穂前 5～0 日）	5	15	30	50	15	35	55	75	20	25	40	60
出穂開花期 （出穂後 0～5 日）	0	10	20	35	10	25	35	50	5	15	30	50
登熟初期 （出穂後 5～10 日）	0	5	10	20	5	15	20	50	5	10	25	40
登熟中期 （出穂後 10～25 日）	5	10	10	30	10	25	35	30	15	20	30	50
登熟後期 （9月上旬～10月上旬）	0	0	0	15	0	10	15	30	5	5	10	20
	0	0	0	5	0	0	5	10	0	0	0	5

「農業災害ハンドブック」平成 2 年 3 月 宮城県農政部発行 より

いもち病にも注意が必要です！

7月5日以降、感染好適条件の広域出現日が連続しており、葉いもちに感染しやすい状況が続いています（BLASTAM による推定）。

※感染好適条件：葉いもちの大量感染に好適な気象条件（葉面湿潤時間 10 時間以上、平均気温 15～25℃、前 5 日間の平均気温 20～25℃）が出現した日。

こまめにほ場を観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。